スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県南魚沼市

自 治 体 名 ： 新潟県南魚沼市
担 当 課 名 ： 学校教育課　生涯スポーツ課　社会教育課
電 話 番 号 ： 025-773-6700

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	584.55㎢
人口	51,653人 （令和7年9月）
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	1,390人 （令和7年5月）
部活動数 （運動部活動のみ）	46部活
地域クラブ活動数	30クラブ （令和7年12月）
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

市の人口減少とともに、中学校等の生徒数も減少傾向にあり、令和7年度の1,390人に対し、令和10年度では1,269人、令和13年度では1,166人にまで減少する見込みである。

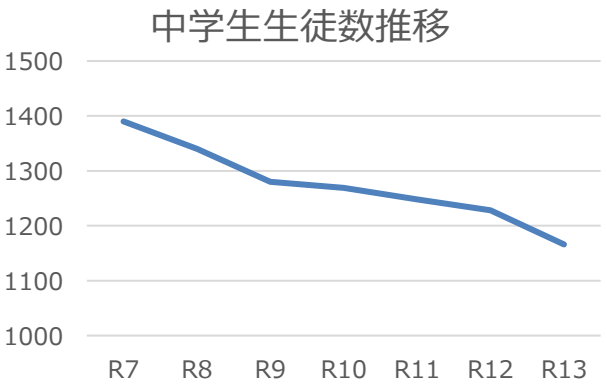
令和7年度の部活動は、運動部が15種目（46部:特設含む）、文化部が4種目（9部）あり、運動部の団体競技では、将来的に部員不足のため単独でチームを編成することができなくなることも予測される。

令和4年度より部活動改革検討委員会を計14回、部活動種目ごとの専門部会を7回開催し、休日部活動の地域移行に向けて検討をしてきた。令和8年度は「休日の部活動は実施しない。ただし、特例を認める。」とし、現時点で休日の地域展開を完了とした。総合型地域スポーツクラブやスポーツ団体等の協力により、平日にも地域スポーツクラブ活動を実施している種目もある。

市として令和6年度末に「地域クラブ認定基準」を策定し、現在は競技ごとに地域団体との専門部会を開催し、話し合いを行い、認定地域クラブ活動への申請を依頼してきた。令和8年度スタートの認定地域クラブ活動（7）を含めると、29の認定地域クラブ活動数（うち文化芸術3）となっている。

今後の課題として、持続可能な運営体制整備や人材確保等が挙げられる。

また、活動場所への送迎（移動）に関する要望が多くある。



種目別認定地域クラブ活動数（R8 スタート含む）

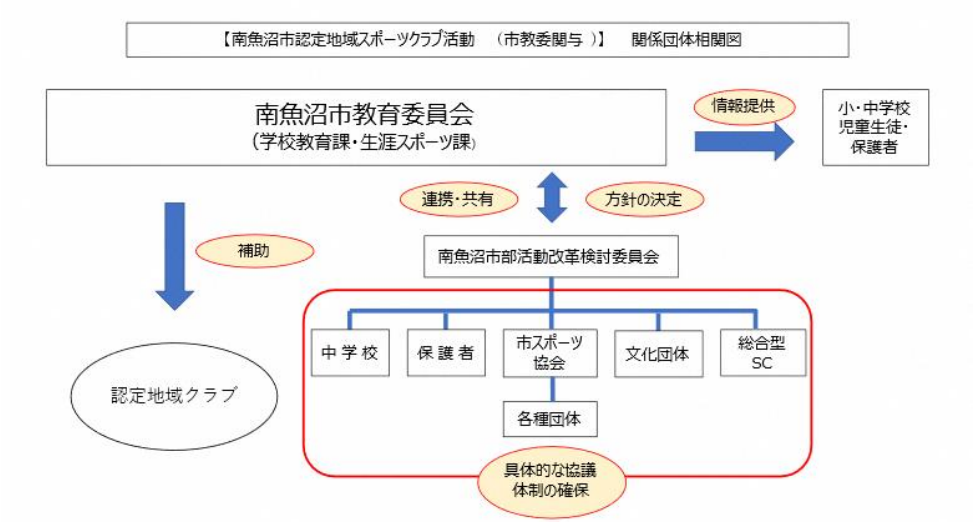
陸上競技	2	バドミントン	1
水泳	2	剣道	1
バスケットボール（女子）	1	柔道	1
バスケットボール（男子）	2	アルペン	4
軟式野球	4	クロカン	1
バレーボール	4	ジャンプ	1
ソフトテニス	1	吹奏楽	2
卓球	1	プログラミング	1

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・学校教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携

・生涯スポーツ課…スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブとの連絡・調整

・社会教育課…中学生の地域文化芸術活動の環境整備

◉首長部局

・財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和7年度　部活動改革カレンダー

月	地域クラブ	学校	その他	備考
4		初旬：部活動改革だより8号の配付		
		中旬：部活動改革だより（中学生版）配布		
		下旬：PTA総会等で状況説明		
5				
6	種目別専門部会（進捗状況の共有：地域クラブ・学校・協会連盟　等）			
7		7/14 第11回部活動改革検討委員会		
		部活動及び認定地域クラブ活動計画（改訂版）の編成		
8		8/7 部活動指導員研修会	8/7 第12回部活動改革検討委員会打合せ	
		8/19 第12回部活動改革検討委員会	中旬：部活動改革だより9号の作成	
9	地域クラブ運営者学習会（スポーツ協会主催）	中旬：部活動及び認定地域クラブ活動計画（改訂版）の公表		
			中旬：部活動改革だより9号の配付	
10		1日：新人戦		
		初旬：部活動改革：R7後半の取組開始		
		小6対象説明会（体験入学時等あれば…）		
11		下旬：種目別専門部会（進捗状況の共有：地域クラブ・学校・協会連盟　等）		
12		中旬 第13回部活動改革検討委員会打合		
		中体連登録申請期間（R6は12/15～1/31） ＊登録予定のクラブは学校と連携をとること		
1			初旬：第13回部活動改革検討委員会	
	部活動及び認定地域クラブ活動計画（R8年度版）の編成			
		小6対象説明会（体験入学時等）		
2		8/7 第14回部活動改革検討委員会打合せ		
	下旬 中体連登録決定	中旬：第14回部活動改革検討委員会	中旬：部活動改革だより10号の作成	
3		初旬：部活動及び認定地域クラブ活動計画（R8年度版）の公表		
	下旬：地域クラブ指導者講習会		中旬：部活動改革だより10号の配付	

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		20クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		20クラブ（43部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	79人	全体の運営スタッフ数	63人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
S&L Athlete Club	総合型スポーツクラブ	陸上競技	・平日　週1回 ・休日　週1回	・平日 18:30～20:30 ・休日 17:00～19:00	市内外中学生	通年	3人	3人 （内、兼務3人）	49,300円/年	中体連：部活動 その他：部活動
M3 Athlete Club	総合型スポーツクラブ	陸上競技	・休日　月2回	・休日 13:00～15:00	市内中学生	令和7年12月～	3人	3人 （内、兼務3人）	9,000円/年	なし
MSA（南魚沼水泳協会）	競技団体	水泳	・平日　週2回 ・休日　週1回	・平日 19:00～21:00 ・休日 14:00～16:00	市内外中学生	通年	3人	2人 （内、兼務0人）	60,000円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
南魚沼Rising U15	総合型スポーツクラブ	バスケットボール	・平日　週2回 ・休日　月2回	・平日 19:00～21:00 ・休日 13:00～16:00	市内中学生	通年	6人	6人 （内、兼務0人）	27,300円/年	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
Wolf Pack MBC	総合型スポーツクラブ	バスケットボール	・平日　週3回 ・休日　週1回	・平日 18:00～19:30 ・休日 9:00～11:30	六日町・塩沢八海中生徒	令和7年9月～	4人	2人 （内、兼務0人）	22,000円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
BLAZE	総合型スポーツクラブ	バスケットボール	・平日　週3回 ・休日　週1回	・平日 19:00～21:00 ・休日 9:00～12:00	大和中生徒	令和7年10月～	3人	2人 （内、兼務0人）	15,300円/年	中体連：部活動 その他：部活動
BTC軟式	総合型スポーツクラブ	軟式野球	・休日　週1回	・休日 17:00～20:00	市内中学生	通年	3人	3人 （内、兼務3人）	800円 +1,000円/回	なし
大和BC	総合型スポーツクラブ	軟式野球	・平日　週1回 ・休日　週1回	・平日 18:30～20:30 ・休日 8:30～11:30	市内中学生	通年	2人	8人 （内、兼務0人）	27,300円/年	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
六日町JBC	総合型スポーツクラブ	軟式野球	・休日　週1回	・休日 8:30～11:30	市内外中学生	通年	3人	2人 （内、兼務0人）	39,300円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
塩沢4UNITY	総合型スポーツクラブ	軟式野球	・休日　週1回	・休日 9:00～12:00	塩沢中生徒	通年	3人	4人 （内、兼務0人）	18,000円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
六日町YVC	総合型スポーツクラブ	バレーボール	・平日　週1回 ・休日　週1回	・平日 19:00～21:00 ・休日 9:00～12:00	六日町中生徒	令和7年6月～	2人	3人 （内、兼務0人）	9,300円/年	中体連：部活動 その他：部活動

2.実証内容と成果

スポーツ庁

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
南魚沼RYDEEN	競技団体	ソフトテニス	・平日　週1回 ・休日　週1回	・平日 19:00～21:00 ・休日 9:00～12:00	市内中学生	通年	4人	3人 （内、兼務0人）	32,000円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
こばどクラブ	総合型スポーツクラブ	バドミントン	・平日　週4回 ・休日　週1回	・平日 19:00～21:00 ・休日 18:00～20:00	市内外中学生	通年	8人	0人 （内、兼務0人）	14,300円/年	中体連：部活動 地域クラブ その他：地域クラブ
南魚沼柔道クラブ	総合型スポーツクラブ	柔道	・休日　月1回	・休日 9:00～12:00	市内中学生	通年	2人	2人 （内、兼務0人）	6,300円/年	中体連：部活動 その他：部活動
南魚剣道クラブ	総合型スポーツクラブ	剣道	・休日　月2回	・休日 9:00～12:00	市内中学生	令和7年10月～	3人	4人 （内、兼務0人）	9,300円/年	中体連：部活動 その他：部活動
六日町JSC	総合型スポーツクラブ	アルペン	・休日　週1回 （onシーズンは（土）（日）と活動することあり）	・休日 9:00～12:00	原則六日町中生徒	12月～	5人	2人 （内、兼務0人）	13,300円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
上越国際JSC	総合型スポーツクラブ	アルペン	・平日　週2回 ・休日　週1回 （onシーズンは（土）（日）と活動することあり）	・平日 17:30～19:00 ・休日 14:00～16:00	市内外中学生	12月～	4人	1人 （内、兼務0人）	13,300円/年	中体連：出場なし その他：地域クラブ
塩沢SJ	総合型スポーツクラブ	アルペン	・休日　週1回 （onシーズンは（土）（日）と活動することあり）	・休日 13:30～16:00	市内外中学生	1月～	6人	0人 （内、兼務0人）	13,300円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

スポーツ庁

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
JIMS RACING	総合型スポーツクラブ	アルペン	・平日　週2回 ・休日　週1回（onシーズンは（土）（日）と活動することあり）	・平日 18:30～20:30 ・休日 9:00～13:00	市内外中学生	通年	3人	3人 （内、兼務3人）	73,450円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
南魚沼JRC	総合型スポーツクラブ	クロカン	・平日　週2回 ・休日　週1回（onシーズンは（土）（日）と活動することあり）	・平日 19:30～21:00 ・休日 9:00～11:30	市内中学生	通年	6人	5人 （内、兼務0人）	33,300円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ
南魚沼JST	総合型スポーツクラブ	ジャンプ	・平日　週2回 ・休日　週1回（onシーズンは（土）（日）と活動することあり）	・平日 19:00～20:30 ・休日 9:00～12:00	市内外中学生	10月～	6人	10人 （内、兼務0人）	27,300円/年	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

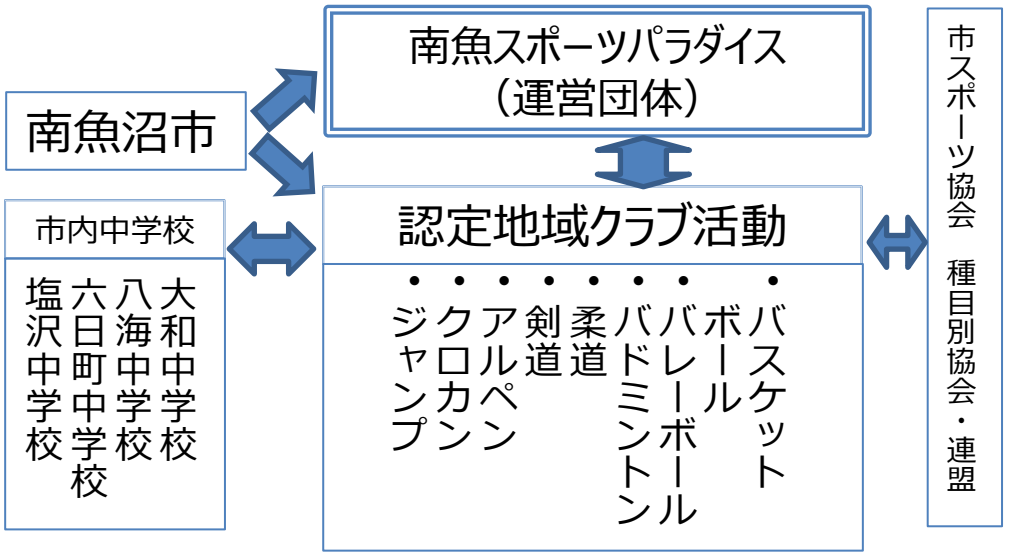
スポーツ庁

主な取組例

●南魚スポーツパラダイス　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	・バスケットボール　・バレーボール ・バドミントン　・柔道　・剣道 ・アルペンスキー　・クロカンスキー ・スキージャンプ
運営団体名	南魚スポーツパラダイス （総合型地域スポーツクラブ）
期間と日数	アルペンスキー、スキージャンプは冬季のみ 他種目は通年 活動回数は（平日3～1休日1）や （休日のみ月1～2）等クラブによる
指導者の主な属性	市内競技協会・連盟会員　保護者
活動場所	ディスポート南魚沼　及び市内体育施設
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	・バスケットボール27,300円　・バレーボール9,300円 ・バドミントン14,300円　・柔道6,300円 ・剣道15,300円　・アルペンスキー13,300円 ・クロカンスキー33,300円　・スキージャンプ27,300円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 南魚沼市（管理者）
  文化スポーツ振興公社より南魚スポーツパラダイスへ業務委託
  認定地域クラブ活動へ活動補助（補助金、活動場所の優先確保等）
- 南魚スポーツパラダイス（運営団体）
  認定地域クラブ活動へ活動支援（募集及び参加申し込みの受付、保険管理等）
- 認定地域クラブ活動
  指導者：練習指導、大会引率等
  運営スタッフ：会計管理、総会の開催、活動の見守り等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 市スポーツ協会と連携し、総合型地域スポーツクラブ、学校、市との連絡調整・指導助言等を行う。
- 指導者研修等年1回以上の競技団体ミーティングを開催し、地域クラブ実施状況や指導者確保状況等を共有する。

今後の取組における課題

- 令和8年度活動方針「休日の部活動地域展開の確実な実施と充実」を具現化する、学校、認定地域クラブ活動、協会・連盟、総合型地域スポーツクラブ、行政等の連携。
- 指導者の資質向上を目指す中で、子どもたちの「安全・安心」のためにも、心肺蘇生講習会の実施。

取組の成果

- 指導者の質的向上を目的とした研修会を、市スポーツ協会の主催で2回、市主催で1回実施することができた。
- 学校部活動、認定地域クラブ活動、関係種目協会・連盟、総合型地域スポーツクラブ及び行政が参加し、種目別専門部会を2回開催した。部活動地域展開の進捗状況や、各分野での問題点の共有が図られた。
- 部活動改革検討委員会を4回開催し、今後の方針や問題点に対する改善方法等を協議・決定した。

課題への対応方針

- 令和7年度同様、種目別専門部会や部活動改革検討委員会の開催。（専門部会2回、検討委員会4回）
- 市スポーツ協会や消防署と連携した心肺蘇生講習会の開催と、認定地域クラブ活動指導者の確実な参加。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 専門部会及び部活動改革検討委員会の計画・運営
- 総合型地域スポーツクラブとの連絡調整
- 認定地域クラブ活動への視察による状況把握や助言
- 市内中学校の部活動視察と顧問との連携
- 各種研修会への参加

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 生徒間トラブルや保護者対応を含む、危機管理対応マニュアルを作成し、指導者研修の中の資料として活用し、指導者の対応能力の向上を図った。
- 部活動地域展開コーディーネーターの定期的な視察による、活動状況の把握と助言を行った。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 部活動地域移行コーディネーターを事務局内に設置し、市と学校、総合型地域スポーツクラブ、認定地域クラブ、スポーツ協会等との連携をスムーズに行うことができた。
- 部活動地域コーディネーターの定期的な巡回による活動状態の把握と、適切な助言により、認定地域クラブ活動の運営の充実が図られた。

＊ 認定地域クラブ活動及び学校部活動訪問、各種目協会・連盟関係者との面談等、総数94回。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

○ トラブル対応
- 適切な初期対応と丁寧な事実確認
- 保護者、学校との連携

○ 事故対応
- 最悪を想定して最善の対応をする。多数の大人で対応する。
- 救急搬送やAED処置をためらわない。

＊ 双方とも未然防止のための日々の取組が重要

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 市とスポーツ協会が連携し、本格的な指導を行えるコーチ～ボランティアまで幅広く、人材発掘やマッチングを行う。
- 人材バンクは令和7年に運用開始を目指し、制度の構築を図る。
- 認定地域クラブの代表者や指導者に対して、研修会を実施する。

今後の取組における課題

- 「人材バンクは令和7年に運用開始を目指し、制度の構築を図る。」としていたが、登録者が皆無で「開店休業」状態になってしまった。
- 指導者の資質向上につながる、「指導者の資格取得」のための支援は行うことができず、県から紹介された資格取得の補助制度の周知にとどまってしまった。

取組の成果

- バレーボールは市協会主導で認定地域クラブ活動を各中学校単位で立ち上げ、指導者の確保に協会が全面的に協力した。
- 指導者の質的向上を目的とした研修会を、市スポーツ協会の主催で2回、市主催で1回実施することができた。

課題への対応方針

- 「人材確保」の視点から人材バンクの制度は継続し、これまで以上の周知を図る。一方で関係種目の協会・連盟と連携し、長期的な視野の元で人材育成等の充実を図っていく。
- 小中問わず、教員にも人材確保に向けた働きかけを行い、兼職・兼業申請を促す。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

計画にはなかったが、市役所内の職場内研修で部活動改革に関する研修会を行った。参加者50名枠が数日で埋まるほど需要があった。市役所職員とはいえ、中学生の保護者だったり、協会・連盟の関係者だったりで、関心の高いテーマであることが再認識できた。

閉会のあいさつで、学校教育課長より認定地域クラブ活動の指導者として協力を依頼した。

研修の内容

研修名	南魚沼市中学校部活動地域展開の現在地 ～私たちに何ができるか…？～
講師	部活動地域移行（地域展開）コーディネーター
研修内容	1 「南魚沼市中学校部活動地域展開の現在地」について全体説明及び質疑・応答 2 「わたしたちに何ができるか…？」についてグループワーク ＊キーワード：「安全・安心」「持続可能」「他部局との連携」「企業や団体等との連携」

研修受講者の声

参加者①

- 今後の部活動の動きが地域展開になることについて詳しい動きを聞けて良かった。

参加者②

- グループワークで不可能な意見もあったかもしれないが、少しでも実行できるよう検討していただきたいのと、自分もその力になれるように努力していきたい。

参加者③

- 部活動の地域移行は進んでいるとは聞いていたが、今回具体的な内容が聞けてよかった。国の支援や実際の業務フロー等細かいところも聞いてみたい。



2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 検討委員会や種目ごとの専門部会を継続し、各関係機関との連携を引き続き進めていく。
- 活動場所への保護者送迎の負担軽減のために、市認定地域クラブ活動に対して部活動支援バスの活用を予定している。そのために市車両班や運転手となるシルバー人材センター等関係者と連携強化を図る。

今後の取組における課題

- 大会や練習試合等で部活動支援バスを利用する際に、運転手としてシルバー人材センターに依頼してきたが、契約内容に教員または市の職員が引率しないと派遣できないことが分かった。
- 日常的な認定地域クラブ活動の練習等に対して、保護者負担軽減の措置がとられていない。

取組の成果

- 専門部会において、学校や協会・連盟、認定地域クラブ活動の状況について情報共有が図られ、特に関係種目の協会・連盟からの積極的な支援が得られた。
- 総合型地域スポーツクラブからの支援が強化され、休日の部活動の受皿としての活動がすべての種目で保障された。

課題への対応方針

- シルバー人材との契約については、認定地域クラブ活動の指導者を日雇いの会計年度職員扱いにすることで対応する。
- 令和8年度から実証実験がスタートするオンデマンドバスを、将来的に利用できるようにならないか検証していく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 圏域市区町村とのつながりを強化し、連携しながら地域スポーツクラブの整備を進めていく。
- 中学校区を超えた地域スポーツクラブの設置や他市町村の生徒の受入れ、他市町村のクラブへの参加の検討を行う。

今後の取組における課題

- バスケットボールの中体連細則は、部活動の地域展開に逆行するものである。認定地域クラブ活動関係者の尽力で、部活動の地域展開が進んでいる中で、意欲をそぐようなルールはやめてもらいたい。

取組の成果

- 4市2郡部活動地域移行連絡会議に参加し、情報共有やネットワークが構築された。（次スライドのとおり）
- 軟式野球では、部員不足でチームを組めなかった湯沢中生徒を受け入れることができた。

課題への対応方針

- バスケットボールの細則については、中体連関係機関はもちろん、スポーツ庁の関係機関からも意見具申を行い、改善してもらう。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

市区町村等を越えた取組

魚沼地区近隣の市町担当者が集まり、進捗状況や課題等の情報共有を行う、4市2郡部活動地域移行連絡会が開催された。

人口減少や少子化等、全国及び県平均を上回る速さで進む現状から早期の対応が望まれていることを再認識できた。

特に魚沼市の取組は先進的で、平日の地域展開も視野に入れた今後の方向性について、大変参考になった。

また、近隣地域における担当者のネットワークが構築され、その後の活動に役立った。

4市2郡部活動地域移行連絡会資料（R7.9.16）

【南魚沼市】

1　地域移行に関わる取組状況

（1）　推進計画の策定年度　　令和５年度

（2）　推進協議会等　（名称：部活動改革検討委員会）
① 設置年度　　令和３年度
② 年間開催回数　　年４回
③ 構成メンバー人数　１７人　（委員９名＋事務局）
（内訳：教育長 教育部長 スポーツ協会長 中体連会長 同事務局 市Ｐ連元会長　魚沼吹奏楽団団長
総合型地域スポーツクラブ（２）
学校教育課長　生涯スポーツ課長　同係長　社会教育課長　学校教育課管理指導主事
同学校指導係長　同主事　同部活動地域移行（展開）担当）
④ その他　進行：教育長
事務局：学校教育課　生涯スポーツ課　社会教育課

（3）　今年度の移行状況（数字はおよそでかまいません）
① 学校部活動のみ実施　　（　３　）　卓球　サッカー　文化（美術）
② 学校部活動で一部地域クラブとして実施　　（　１５　）
陸上　水泳　バスケットボール（男女）　軟式野球　バレーボール　ソフトテニス（男女）
バドミントン　柔道　剣道　スキー（アルペン、クロカン、ジャンプ）　吹奏楽
③ 地域クラブのみ実施　　（　１　）　プログラミング（ロボ団南魚沼校）

（4）　来年度の予定　　＊（3）と同じ
① 学校部活動のみ実施　　（　３　）
② 学校部活動で一部地域クラブとして実施　　（　１５　）
③ 地域クラブのみ実施　　（　１　）

2　地域クラブの形態（一番近いものに○印を付けてください・複数回答可）
（　）市町教委が調整して指導者等を依頼し組織化
（　）現行の部活動顧問を指導者として地域クラブ化
（○）　有志が自主的に組織化（非営利）し市町に申請して地域クラブ化
＊学校部活動単位でクラブ化を図るケースが多い
（○）民間クラブ（営利法人）が市町に申請して地域クラブ化
（　）その他〔説明：　　〕

3　地域クラブの運営団体（一番近いものに○印を付けてください）
※「運営団体」：活動状況を把握、指導し、謝金支払い・源泉徴収事務棟を行う組織
（　）市町教育委員会
（○）スポーツ協会、総合型スポーツクラブ、文化協会等の準公的な既存団体
（　）民間団体（営利法人）
（○）その他〔説明：＊学校部活動単位でクラブ化を図るケースが多いので、保護者または指導者など〕

4　地域クラブ運営に関わる経費（様式自由）　（地域クラブ活動の運営に係る諸経費の収支構造に関する調査）

種目	アルペンスキー（個人負担：大）	軟式野球（個人負担：小）	女子バスケットボール（個人負担：中）	備考
生徒数(人)	7	18	52	
年間活動数(回)	16	12	24	
運営諸経費合計(円)	676, 150	484, 400	1, 634, 600	謝金, 保険, 備品等
一人当たりにかかる経費(円/年)	96, 593 (72, 000)	26, 911 (20, 400)	31, 435 (24, 000)	( )受益者負担額
〃　公費負担額(円/年)	24, 593 (7, 857)	6, 511 (6, 666)	7, 435 (5, 962)	( )補助金/生徒数
受益者負担割合(%)	74. 6	75. 8	76. 3	
公的負担　〃(%)	25. 4	24. 2	23. 7	

（1）認定地域クラブへの補助金について：所属生徒数（市内在住）により決定。
①生徒数：１～10 人（20,000 円）　11～20 人（30,000 円）　21 人以上（50,000 円）
②生徒数×5,000 円　　①+②の合計額を補助金として助成
（2）生活困窮世帯への支援　なし

5　地域移行に関わる市町教委内の体制
・～R6 年度　学校教育課長　管理指導主事　学校指導係長　同 主事　が主に担当
R7 年度～　部活動地域移行担当籍を新設（管理指導主事離脱）
・種目別専門部会時は、責任者として教育部長、管理指導主事、生涯スポーツ課長・係長、社会教育課長なども担当。記録係として主事等が複数担当

6　その他課題等
（1）　方針　**・R8 年度から休日の部活動は一切行わない。**
・中体連大会は、休日でも部活動で参加できる。
（2）　現状　・４中学校ともそこそこの規模がある。（右表参照）
（チームスポーツ系の部も部員数が多く、必要性が薄いうえに、ゲーム出場の機会減などデメリットが多い）
・学校間が遠い（塩沢～大和：18.2 km 35 分）
（3）　傾向　**・学校部活動単位でクラブ化を図るケースが多い。**
①メリット　・現状からの変化が小さい。　・関係者の当事者意識が高い。
②デメリット　・運営団体（保護者等）の不安要素多い。　・継続性に薄い（生徒数、保護者引継ぎ等）
年度当初よりも、はるかに協会や連盟、保護者会等が活発に動き出している。方法は一つではないので、南魚沼市の実情に合った方法で部活動の地域移行（展開）を進めていく。「何のために」「どのように」など、明確なビジョンをもち、周知を深め理解と協力を得ながら、取り組んでいきたい。

南魚沼市立中学校生徒数の推移

	R7	R10	R13
大　和	343	322	288
八　海	288	256	239
六日町	332	317	320
塩　沢	427	374	319

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

- 保護者や地域団体が参加する専門部会の複数回の実施や、「部活動だより」を発行し、地域移行に向けて市の動向を説明を丁寧に行う。
- アンケートをもとに、生徒・保護者のニーズに対応できるよう課題を精査し改善を図る。

取組の成果

- 保護者や地域団体が参加する専門部会を2回開催できた。必要に応じ3回4回と開催した種目もあった（陸上競技、水泳、軟式野球、バレーボール、卓球等）。課題の共有、改善策の検討がなされ、令和7年度内だけでも12の認定地域クラブ活動が設立された（スポーツ系のみ、令和8年スタート含む）。
- 「部活動改革だより」の8、9号を発行できた。ほかにも、中学生への説明用に「部活動改革だより（中学生版）」や、小学6年生向けの説明会資料、学校職員用説明会資料を作成し配布した。PTA総会時や新入生体験入学時、職員会議等の説明に活用した。
- 生徒対象にenjoy系の水泳クラブの需要についてアンケート調査を行った。意外に需要があることがわかり、令和8年度スタートの認定地域クラブ活動の設立に至った。

今後の取組における課題

- アンケート調査については水泳種目のみの実施であった。部活動地域展開コーディネーターの認識不足で、他を行うに至らなかった。
- 専門部会については、予定通り一斉開催で2回出来たが、様々な分野の声を聞き取るには少ないように感じた。

課題への対応方針

- アンケート調査については、休日部活動の完全展開や平日の地域展開へ取組むうえでも定例化を図り、満足度や問題点を把握し対応する。
- 専門部会の開催は、一斉開催の回数を増やすのは難しいので、行政の種目担当者の意識を高め、必要に応じて開催する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 地域クラブでは、指導者のボランティア要素が根強く残っている部分もあるが、クラブが適正な会費を設定できるよう説明を行っていく。保護者に対しても受益者負担が理解されるよう説明を行っていく。

今後の取組における課題

- 経済的困窮世帯生徒への減免措置等の支援体制が整っていない。
- 取組の成果等を的確に把握し改善に生かすためにも、アンケートの調査項目を検討し、定例化して実施する必要がある。

取組の成果

- 認定地域クラブ活動関係者には、「持続可能」の視点より、指導者の確保等、活動の充実のためにも、適切な報酬は設定すべきと説明した。スキー等の例外を除いては、比較的低廉な参加費設定である。（月額平均約2,100円:スポーツ系のみ14クラブ平均、スキー系除く）
- PTA総会や体験入学の際に、保護者に対して送迎や参加費等の負担が生じることを説明した。部活動の保護者会ベースでクラブ化を図る事例も多く保護者で運営側に回る方々も多数いて、理解は浸透しつつあると捉えている。

課題への対応方針

- 経済的困窮世帯生徒への支援体制整備は、令和8年度に制度を構築し令和9年度から実施する。具体的な内容等は未定である。
- 源泉徴収等難しい会計処理を、総合型地域スポーツクラブが担える体制づくりが進行中である。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

認定地域クラブに対して学校施設等の優先利用等を行う。

今後の取組における課題

- 屋外体育施設のみを使用する際に屋外用トイレがない。
- 屋外施設にナイター照明がない。
- 学校体育館の一般開放で、半面ずつが予約対象となっているため、ソフトテニス等コート一面を確保できない。

取組の成果

- 生涯スポーツ課で行っている学校施設開放調整会議で、認定地域クラブ活動は平日夜、2か所の学校施設を優先確保できるとした。
- 中学校のグラウンド、テニスコート、野球場等、今まで一般開放の対象でなかった中学校体育施設を、開放の対象とした。
- 令和8年度より休日の部活動は地域展開完了となるので、休日日中の学校体育施設は認定地域クラブ活動のみ利用できるとした。

課題への対応方針

- トイレの使用については少々遠くなっても体育館トイレを使用する。
- 体育館でコート一面を押さえたければ、2か所として優先予約を行う。または予約段階でもう半面を空欄にしておき、調整会議の場で他の一般団体と協議のうえ確保する。
- 屋外施設の充実は、すぐには対応できないが、長い目で見て予算化について協議していく。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○ 令和7年度活動方針

10月～：認定地域クラブ活動が実施される場合は
原則部活動は実施しない。

令和8年度は「休日の部活動は実施しない」を目標としたが、結果的に「休日の部活動は実施しない。ただし特例を認める。」となった。特例扱いとなる、駅伝の試走や吹奏楽のホール練習等への対応が今後の課題となった。

○ 認定地域クラブ活動の設立

令和7年度後半に国は認定制度の導入を方針として挙げたが、当市は令和6年度には国の認定要項に近い認定基準を策定し、令和7年度当初から認定地域クラブ活動がスタートできた。

ただ、スタート当初は休日の部活動の受皿としては、クラブ自体がなかったり、募集枠・募集地域が狭かったりと子供や保護者のニーズに応えられるものではなかった。

その後、従来より行っていた保護者会練習をベースとした認定地域クラブ活動化、協会・連盟からの支援の強化、総合型地域スポーツクラブが認定地域クラブ活動を設立等が進み、「休日の部活動は実施しない」体制は構築できた。

＊認定地域クラブ活動参加生徒　41.7%

令和8年度スタートクラブ参加予定生徒を含めると…　49.8%

（令和7年運動部活動参加生徒との比較）

●成果の評価（評価は5段階）

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備：評価4

部活動地域展開コーディネーターが関係者を足しげく訪ね、状況を把握し対応した。

イ：指導者の質の保障・量の確保：評価3

研修会が回数的に不十分。人材バンクの状況等量的にも不十分。

ウ：関係団体・分野との連携強化：評価4

関係機関との連携が強化され、それぞれの活動が活発化した。

エ：面的・広域的な取組：評価3

4市2郡部活動地域移行（展開）連絡会を開催。広域的な取組はここから。

オ：内容の充実：評価4

専門部会、部活動改革検討委員会は予定通り開催。

カ：参加費用負担の支援等：評価2

認定地域クラブ活動への補助金のみ。直接的に保護者への支援はできなかった。

キ：学校施設の活動：評価4

生涯スポーツ課との連携により、認定地域クラブ活動への優遇措置が運用できた。

●今後に向けて

○ 令和8年度活動方針：休日の部活動地域展開の確実な実施と充実

改革推進期間3年間に進めてきた「休日の部活動地域展開」を、より確実なものとして、平日の部活動地域展開の基盤とする。

○ 具体的な取組

- 休日の部活動地域展開に伴う様々な課題への対応
  休日の部活動が実施されないことや、認定地域クラブの活動等で生まれる課題へ対応。
- 平日の部活動地域展開に向けた推進計画の策定
  改革実行期間6年間の道しるべとなる推進計画の策定。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料



【S&L Athlete Club（陸上競技）】



【南魚沼RYDEEN（ソフトテニス）】



【大和BC（軟式野球）】



【こばどクラブ（バドミントン）】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年	令和5年	令和6年前半	令和6年後半	令和7年前半	令和7年後半
部活動改革令和5年スタートの告知 アンケート調査による状況把握	部活動と地域クラブの関係性 推進計画の策定	地域クラブの設立 認定制度の検討	認定基準の策定 活動計画の作成	認定地域クラブ活動スタート 認定地域クラブ活動設立を促進	活動計画の再編集 年度末休日の地域展開完了

●ステークホルダー

学校

●経過

- 学校部活動の時間や日数等の軽減
- 認定地域クラブ活動指導者と学校部活動顧問との連携

●実施にあたって生じた課題

- 部活動のイメージや固定観念の強さ
- 休日の部活動がなくなることで、代替のできない活動（駅伝の現地試走、吹奏楽のホール練習等）の明確化

●実施内容、工夫した点 等

- 職員会議等に部活動地域展開コーディネーターが赴き、市の方針や進捗状況を説明
- 休日の部活動における特例の設定

●ステークホルダー

保護者・地域

●経過

- アンケートによる意識調査
- 部活動改革だより等、広報活動による周知
- 各種集会の際のコーディネーターによる説明
- 保護者主導での認定地域クラブ活動の設立

●実施にあたって生じた課題

- 部活動地域展開に対する関心不足と周知不足
- 認定地域クラブ活動の運営面での不慣れ、持続可能という点での見通しの不透明さ

●実施内容、工夫した点 等

- 見出し中心の見やすい広報誌
- コーディネーターのクラブ訪問

●ステークホルダー

スポーツ協会、種目別協会・連盟

●経過

- 協会・連盟主導の既存の地域クラブの見直し
- 認定地域クラブ活動へ協会・連盟からの支援
- スポーツ協会主催の指導者研修会の開催

●実施にあたって生じた課題

- 協会・連盟自体の人材不足
- 認定地域クラブ活動の指導者不足
- 部活動のイメージや固定観念の強さ

●実施内容、工夫した点 等

- 種目別協会・連盟内での部活動地域展開への理解の促進
- スポーツ協会を含む協会・連盟の体制強化

●ステークホルダー

総合型地域スポーツクラブ

●経過

- 市内体育施設等の管理
- 既存の地域クラブの参加集約や保険等の統括管理
- 運営団体としての業務の整理
- 子どものニーズに合わせた認定地域クラブ活動の設立

●実施にあたって生じた課題

- 運営団体としての業務をするうえで必要な体制づくり
- 認定地域クラブ活動への支援体制の強化

●実施内容、工夫した点 等

- ジュニア世代（小中）におけるスポーツ活動の見直し
- 県主催の研修会への参加

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	中学校部活動地域展開　改革実行期間（前期）の平日展開予定				
	R8	R9	R10前	R10後	R11以降
休日	部活動は行わない	部活動は行わない	部活動は行わない		部活動は行わない
認定地域クラブ	平日の指導体制作り 中体連登録を検討 休日の活動の充実 （月2～3回） 認定申請（年度末R9～）	平日の認定地域クラブ活動を実施（週1～3回） 中体連登録体制の推進 休日の活動の充実 （月2～3回）	平日の認定地域クラブ活動を実施（週2～3回） 中体連登録体制の推進 休日の活動の充実 （月3～4回）		平日の認定地域クラブ活動を実施（週2～3回） 中体連登録、クラブで出場 休日の活動の充実 （月3～4回）
学校	部活動を実施 活動休止日：週1 （2学期より：週2） 部活動の実施日と認定地域クラブ活動日の調整 クラブ未加入者も週2～3の部活動日を保障 部活動顧問とクラブ指導者の連携 R8年度入学生 → 2年生 → 3年生 部活動引退	部活動を実施 活動休止日：週2 生徒の認定地域クラブへの参加を奨励 部活動顧問とクラブ指導者の連携	部活動を実施 活動休止日：週2＋認定地域クラブ活動が実施される日には、原則部活動を行わない	部活動を実施 活動休止日：週2＋認定地域クラブ活動が実施される日には、部活動を行わない	平日休日共に、中学校部活動は行わない
連盟・協会	組織の拡充 認定地域クラブ活動の充実 認定地域クラブ活動への指導者派遣体制づくり	組織の拡充 認定地域クラブ活動の充実 認定地域クラブ活動への指導者派遣体制づくり 主催大会の充実	組織の拡充 認定地域クラブ活動の充実 認定地域クラブ活動への指導者派遣体制づくり 主催大会の開催		組織の拡充 認定地域クラブ活動の充実 認定地域クラブ活動への指導者派遣体制づくり 主催大会の開催
行政 総合型地域スポーツクラブ	平日の推進計画を策定・周知 認定地域クラブの運営負担を軽減 補助金の確保 研修会の開催 認定地域クラブの認定（R9,10）	平日の推進計画を周知 認定地域クラブの運営負担を軽減 補助金の確保 研修会の開催	平日の推進計画を周知 認定地域クラブの運営負担を軽減 補助金の確保 研修会の開催 認定地域クラブの認定（R11,12）		認定地域クラブの運営負担を軽減 補助金の確保 研修会の開催 認定地域クラブの認定（隔年）

「平日の部活動の地域展開に向けた推進計画」の策定を、令和8年度に予定しているので、事務局レベルでの案である。

部活動改革実行期間前期のうちに、平日の部活動地域展開がほぼ完了できればと考えている。